

# JIS

## 継目板用及びレール締結用のボルト 及びナット

JIS E 1107 : 2008

(JRCEA/JSA)

平成 20 年 3 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

## 日本工業標準調査会標準部会 鉄道技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	岡 本 勲	財団法人鉄道総合技術研究所
(委員)	磯 村 陽 治	社団法人日本鉄道施設協会
	岩 崎 正 志	財団法人日本鋼索交通協会
	遠 藤 隆	東日本旅客鉄道株式会社
	岡 方 義 則	住友金属工業株式会社
	小 澤 宏 一	JFE スチール株式会社
	小 田 和 裕	日本貨物鉄道株式会社
	小野山 悟	社団法人日本鉄道電気技術協会
	河 合 篤	国土交通省
	北 野 忠 美	社団法人日本民営鉄道協会
	土 井 利 彦	信号工業協会
	藤 澤 憲 三	鉄道分岐器工業会
	堀 江 富士雄	近畿車輛株式会社
	溝 口 正 仁	社団法人日本鉄道車輛工業会
	室 木 鉄 朗	東京都
	若 月 輝 行	新日本製鐵株式会社
	和 嶋 武 典	株式会社日立製作所
	渡 邊 朝 紀	IEC TC9 国内委員会 (財団法人鉄道総合技術研究所)
(専門委員)	福 永 敬 一	財団法人日本規格協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 28.2.27 改正：平成 20.3.20

官 報 公 示：平成 20.3.21

原 案 作 成 者：社団法人日本鉄道施設協会

(〒110-0005 東京都台東区上野 1-11-9 イマスサニービル TEL 03-5846-5300)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：鉄道技術専門委員会 (委員長 岡本 勲)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文 .....	1
1 適用範囲 .....	1
2 引用規格 .....	1
3 用語及び定義 .....	2
4 製造方法など .....	2
4.1 ボルト・ナット素材の製鋼方法 .....	2
4.2 ボルト・ナットの製造方法 .....	2
4.3 ボルト・ナットの強度区分, 種類・記号及び形状・寸法, 並びにねじの種類 .....	2
4.4 限界ゲージ .....	4
4.5 表示 .....	4
4.6 品質 .....	5
4.7 寸法許容差 .....	6
5 機械的性質・寸法の試験及び検査 .....	6
5.1 機械的性質試験及び検査 .....	6
5.2 寸法試験及び検査 .....	8
6 注文者が提供すべき資料 .....	9
7 包装 .....	9
附属書 A (規定) 試料数 500~2 000 のロット用ワルド法 .....	14
附属書 B (規定) 試料数 2 001~100 000 のロット用ワルド法 .....	16
附属書 C (規定) 段階的サンプリング方法—ワルド法 .....	17
附属書 D (規定) 再提出ロット検査用の段階的サンプリング方法 .....	18
附属書 JA (規定) ウィットねじのボルト・ナット .....	19
附属書 JB (規定) ウィットねじの限界ゲージ .....	25
附属書 JC (参考) JIS と対応する国際規格との対比表 .....	31
解 説 .....	36

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、社団法人日本鉄道施設協会(JRCEA)及び財団法人日本規格協会(JSA)から工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS E 1107:1998** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に係る確認について、責任はもたない。

## 継目板用及びレール締結用のボルト及びナット

## Steel bolts and nuts for fish-plates and fastenings

## 序文

この規格は、1985年に第1版として発行されたISO 6305-4を基に作成した日本工業規格であるが、我が国の実情に沿うため技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書JC（参考）に示す。

## 1 適用範囲

この規格は、JIS E 1102に用いる継目板ボルト及びナット並びにJIS E 1110に用いる締結ボルト及びナット（以下、これらを総称してボルト・ナットという。）について規定する。ウイトねじを用いる場合は、ボルト・ナットは、附属書JAによる。

**注記** この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 6305-4:1985, Railway components—Technical delivery requirements—Part 4: Untreated steel nuts and bolts and high-strength nuts and bolts for fish-plates and fastenings (MOD)

なお、対応の程度を表す記号 (MOD) は、ISO/IEC Guide 21に基づき、修正していることを示す。

## 2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで、西暦年を付記してあるものは、記載の年の版を適用し、その後の改正版（追補を含む。）は適用しない。西暦年の付記がない引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 0205-4 一般用メートルねじ—第4部：基準寸法

JIS B 0209-3:2001 一般用メートルねじ—公差—第3部：構造体用ねじの寸法許容差

JIS B 0251 メートルねじ用限界ゲージ

JIS B 1041 締結用部品—表面欠陥 第1部 一般要求のボルト、ねじ及び植込みボルト

JIS B 1042 締結用部品—表面欠陥 第2部：ナット

JIS B 1051:2000 炭素鋼及び合金鋼製締結用部品の機械的性質—第1部：ボルト、ねじ及び植込みボルト

JIS B 1052:1998 鋼製ナットの機械的性質

JIS B 1180:2004 六角ボルト

JIS B 1181:2004 六角ナット

JIS B 7420 限界プレーンゲージ